



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

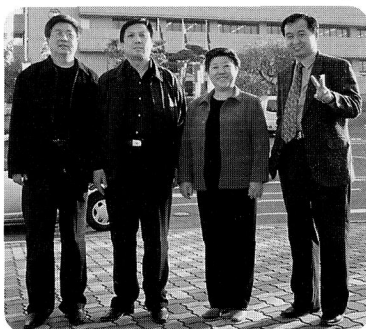
電話 0774-22-3141(内線2057) FAX 20-8776

E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 42 号

平成16年(2004年)12月

右から王さん、何・団長さん、趙さん、尹さん



訪問団は、団長の何彩娥・咸陽市総工会主席、趙国瑞・同市衛生局長、尹学成・同市地方誌弁公室主任、王煥・同市対外友好協会秘書長の計四人で構成。通訳を兼ねる王煥さんは、何度も宇治市を来訪されており、市民の皆さんにお馴染みの方です。

宇治市の友好都市である中国・咸陽(かんよう)市からの公式訪問団が、十一月七日から十日まで来訪。宇治市役所への表敬訪問などの公式行事のほか、協会や市民団体主催の交流会への出席、市内事業所訪問などを通じて、市民の皆さんとの交流と宇治市への一層の理解を深めました。【二面に写真を掲載しています】

咸陽市から公式訪問団が来宇 三年ぶりの来訪で友好交流を促進

今回の宇治市訪問は、三泊四日という短いものでしたが、何・団長さんは宇治市訪問の感想として、「山はきれい、水もきれいで、人はやさしい。私たちに寄せられた宇治市の皆さんの温かさ、両市友好交流に寄せる熱意を、咸陽市の皆さんに必ず伝えたい」と話されていました。

☆☆☆☆

一行の宇治市での行程は、次のとおりです。

【十一月七日(日)】午後には中国から名古屋空港に到着。宇治市には夕刻に入りました。

【十一月八日(月)】午前には宇治市役所を表敬訪問。一階ホールで、市民の皆さんも加わった歓迎式典に参加しました。

式典で久保田市長は「皆さんを宇治市にお迎えでき、心からうれしく思います。両市の友好の絆が更に強くなるよう、ご協力をお願いします。来年は、張立勇・咸陽市長さんのご来訪をお待ちしています」とあいさつ。

何・団長さんからは「宇治市民の皆さんによる、咸陽市の子どもたちに本を送る運動や学校図書館建設、黄土高原植林緑化事業などの取り組みに感謝します。これからも両市の友好交流がさらに深まることを願っています」とのあいさつがありました。

式典後は、行政や市議会の関係者、当協会会長などと懇談した後、宇治商工会議所を表敬訪問しました。

午後は、うじ安心館を訪問し、消防施設や乳幼児検診・健康教育の現場を視察。次いで、市内の製茶工場を訪問し、抹茶の歴史や製造方法などの説明を聞きました。

製茶工場の視察を終えた何・団長さんは、「お茶が中

国から伝わったと聞いて親しみを感じ、日中交流の歴史の長さや深さを再認識しました。これからも多くの人が交流し、両国国民の友情も同じように深められていくでしょう」と話されていました。

夜は、当協会と宇治市が共催する歓迎夕食会で、参加された市民の皆さんと大いに交流を深めました。

【十一月九日(火)】源氏物語ミュージアム・宇治上神社・朝日焼・平等院・市営茶室「対鳳庵」を視察。平等院通りの散策もして、宇治市の秋の風情を楽しむとともに、宇治市への理解も深めました。また、

(次ページへ続く)



市役所前1階での歓迎式典。市民の皆さんははじめ多くの方の歓迎を受けました

夜には、市民団体が主催する歓迎夕食会に参加しました。
【十一月十日（水）】千葉県成田市を公式訪問するため、宇治市を出発しました。咸陽市は、同市とも友好都市盟約を締結しています。

☆ ☆ ☆

今回の咸陽市からの公式訪問団の来訪は、平成十三年秋以来の三年ぶりとなります。
二年間来訪がなかったのは、十四年度は急な両市日程の都合上訪日を中止、十五年度は重症急性呼吸器症候群（SARS）の世界的な流行という情勢などを考慮しての、両市公式交流事業の中止という事情があったからです。同年度には、宇治市から咸陽市への公式訪問団派遣も中止になっています。

従って、今回の来訪を契機に、再び咸陽市・宇治市の間を公式訪問団が往来し、両市民間の交流が更に深められることが期待されます。

宇治市の友好都市である中国・咸陽市やカナダ・カムループス市へ公式訪問団が派遣される際には、市民訪問団員の募集が行われます。十六年度の内容は未定ですが、募集が行われる際には、「宇治市政

だより」に募集記事が掲載されます。お見逃しのありませんように。



久保田宇治市長と固い握手を交わす何団長



宇治市商工会議所へも表敬訪問



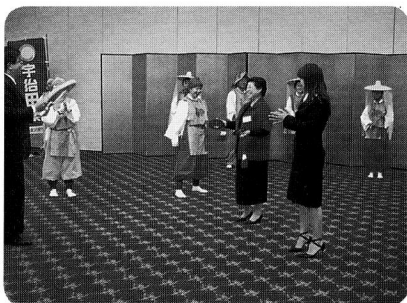
消防の最新システムの説明を受ける



うじ安心館で、子どもたちに目を細める何団長



公式歓迎夕食会では、参加の市民の皆さんと交流



宇治田楽の皆さんとも楽しく交流



源氏物語ミュージアムはじめ平等院や宇治上神社などを視察



朝日焼菓元の説明を聞く



茶の歴史や抹茶ができるまでの説明を聞く



市営茶室「対鳳庵」で一服

カリブ大学留学体験記

平成十六年度留学生 荒木 麻 友さん

宇治市は毎年、友好都市のカムループス市にあるカリブ大学に、市民留学生を派遣しています。今回は、本年度に同校に留学された、荒木麻友さんから寄稿していただいた体験記をご紹介します。なお、カリブ大学は、二〇〇五年四月から「トンブソンリバーズ大学」へと名前を変更します。

第二の我が家、

カムループス

四カ月半という決して長い期間ではありませんでした

が、カムループスでの出会いや体験は私にとって、かけがえのないものでした。

カナダの大自然の中に身を置き、またネイティブカナディアンや他国の人々と共存するカナダの文化に触れ、今まで気づかなかったこと、知らなかったこと、多くのことを感じる事ができました。

* * *

雨の大切さ

カムループスはセミデザートといって、砂漠のように山にはあまり木がなく、とても乾燥していました。

その気候のせいもあり、夏



カムループスの友人の家で

になると山火事が起こりやすく、去年は大規模な山火事が起こり、二カ月も続いたそうです。

日本で育った私にとって雨は憂鬱で、あまり好きではありませんでした。しかし、ホストファミリーやカムループスの友人は雨が降ると喜び、私が「雨は嫌い」と言うと「私

たちには雨が必要なんだよ」と決まって言っていました。カムループスでの生活を通じて雨の大切さ、自然の素晴らしさと恐ろしさを改めて感じました。

充実した学校生活

カリブ大学の授業は少人数で、朝市などに行き、現地の人とふれ合うような野外学習もあり、とても良いプログラムでした。

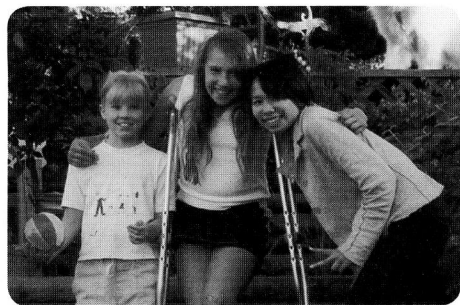
また、授業を通して他国の学生とも仲良くなることで、カナダだけでなくアジアやヨーロッパなどの文化を知ることができました。

日本では学びにくいコミュニケーションに重点を置いた語学コースや、何でも話せる友人は、カムループスでの生活において大きな支えとなりました。

ました。

休み時間

には、芝生の上で食事をしたり、スポーツをしたり、きれいな空気が緑に癒される毎日でした。また、



ホストファミリーの子どもたちと。向かって右はしが荒木さん

「街のみんなの大学」という認識でジムやプール、食堂などの学校施設を市民に開放しているところは、これからの日本でも取り入れていきたい大学のあり方だと思います。

夏休みには、ロッキー山脈やオカナガン湖周辺の街へ行き、大自然を肌で感じる事ができました。

山や湖、滝、全てが初めて見るスケールの大きさで、特にロッキー山脈でみた星は忘れることができません。地球に残された大自然とその恵みを私たちは、責任を持って守っていかなくてはならないと痛感しました。

文化や習慣が違ってても、心と心で接することが言葉の壁を越え、本当の家族のような関係を築く秘訣だと思っています。帰国してからも、ホストファミリーとは家族ぐるみで電話やメールのやりとりをしています。

カムループスの家族
ホストファミリーはとても

このような素晴らしい機会を与えてくださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。そして宇治市とカムループス市の一層の友好関係と国際交流の発展に、協力していきたいと思っています。

あなたもホストファミリー体験を

留学生探訪ツアーを実施

当協会では、十月三十日（土）・三十一日（日）に、留学生宇治市探訪ツアーを実施。

今回参加の十八人は、一泊のホームステイ、万福寺や平等院の見学、スタンブラリーをホストファミリーと一緒に歩くことなどを通じて、宇治市や日本の暮らし・文化を知るとともに、ホストファミリーと交流を深めました。

この事業では、日本滞在中の方を引き受けていただくの

で、交流が容易です。今回はあなたのご家庭で、ホストファミリーをしてみませんか。

以下、今回のホストファミリーの皆さんからいただいた感想を紹介します（一部省略あり。カッコ内数字はホストファミリー体験回数）

☆とても良い経験ができました（初）

☆楽しかった（初）

☆初めて本物の中国の話、感性にふれることができ、感

じるレベルを変えるきっかけができて感謝です（初）

☆同じくらしい年齢の子どもがいたので、二日間とても楽しく過ごすごうことができました。また一緒に紅葉を見に行く予定をしており、今後交流を続けて行けたらと思っています（初）

☆大変良い経験でした。今後とも長くお付き合いできればと思っています。特に今回は普段お付き合いすることのない国の方だったので、余計新鮮で、更に互いの国の事を知りたいと思いました（初）



参加者と案内の協会役員さんがそろっての記念撮影

☆かねてからホストファミリーを体験したいと思っていました。今回、企画に参加でき、とても幸福に思います。昨今、留学生の事件等があるのもニュースで見聞きします。そういう面での不安、心配等があったのも正直なところでした。市民レベルの国際親善は必要であり、もっと身近になるべきだと思います（初）

☆いろいろな国の人と会えるのでとても楽しいです（4）

☆大変楽しい交流が持てました（5）

☆異文化交流は大好きなので、いつでもやりたい（5）

☆とても有意義な時間を持たせていただきました。人柄もよく、子どもたちも楽しく交流させていただきました（6）

雑観雑感

宇治市が、今年度の市中学生カムループス市訪問団の報告書を発行しました。

英語が十分に話せない中学生たちが、それでも精一杯努力して、ホストファミリーとのコミュニケーションを取ろうとする姿には、ほほえましいものがあります。

また、日本と異なる文化・自然の中に飛び込んだ彼らの驚きや感動も伝わってきます。

カムループス市での3泊のホームステイ期間中は、同市の配慮とホストファミリーの温かさによって過ごすため、その点は、中学生の保護者の皆さんには安心でしょう。

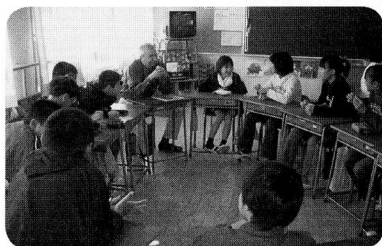
ホストファミリーとの別れ際に泣いてしまったという中学生もいるほど、カムループスの皆さんが彼らを温かく迎えてくれるのも、多くの両市市民の皆さんが交流を深めて来た、大きな成果の一つです。

社会の国際化が進みつつある中、肌身でこうした体験をすることは、彼らの成長の大きな糧になるでしょう。

この報告書は、市立各中学校や図書館、公民館に配布されています。（橋本）

アメリカの先生たちが来宇 学校訪問やホームステイで交流も

日米教育委員会フルブライトメモリアル基金のアメリカ人教員研修プログラムに参加の20人の先生たちが、11月22日から30日まで宇治市に訪来。菟道小・広野中・西宇治高での授業参観や児童生徒との交流、教育・PTA関係者との懇談などのほか、27日～28日には1人ずつに分かれて、宇治市内の家庭に1泊ホームステイもしました。



菟道小の子どもたちとも交流

一行の1人は「幅広い年代の宇治市の皆さんと温かい交流ができ、とても楽しい思い出をもらいました。次は家族と、もう一度宇治市を訪りたい」と宇治市滞在の感想を語ってくれました。

会員からのお知らせ

宇治国際交流クラブ

世界文化交流会 お正月パーティ

日時：2005年1月23日（日）午後1時から3時半

場所：宇治公民館

参加費：500円（外国人無料）

日本の伝統的な芸術、お正月の遊び、外国コーナーでの文化紹介を通じて異文化体験の場を提供します。

お茶を飲みながら楽しいひと時をお持ちください

問い合わせ：電話 22-2137・小永井さん